

2020年8月20日

自動車整備の全国ネットワーク「BS サミット」

と包括的業務提携

「次世代技術に対応する整備ネットワーク」構築の一環



株式会社オートバックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫巳）は、日本全国に自動車整備の拠点を持つ、ボディショップ全国ネットワークであるBS サミット事業協同組合（理事長：磯部君男）と、次世代技術に対応する整備ネットワークの構築に向けた業務提携を締結しました。

ここがポイント！

- クルマの進化により整備業界を取り巻く環境は大きく変わる。この変化に素早く対応できる体制構築により、自動車ユーザーに質の高いサービスを提供する体制を構築
- オートバックスグループ店舗とBSサミットの組合員工場が、双方のリソースを用いて最適な地域連携を促進することで、整備におけるローカルネットワークを構築

これまでの自動車整備といえば、物理的な「分解整備」を中心に行われてきました。2020年4月1日より改正道路運送車両法の施行にともない、従来の分解整備に加え、自動車に標準装備されるようになった衝突被害軽減ブレーキや、アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置など、ADAS（先進運転支援システム）に対応した「電子制御装置整備」に拡大するとともに、対象装置に自動運転レベル3以上の自動運転車に搭載される「自動運行装置」が追加された『特定整備制度』がスタートしています。

現在、自動車整備事業者においては、整備するための場所と人、そして専用機器の導入が迫られており、コスト増や電子制御系の整備に対するスキルの不足に加え、後継者不足などの問題から、大きな負担を強いられています。

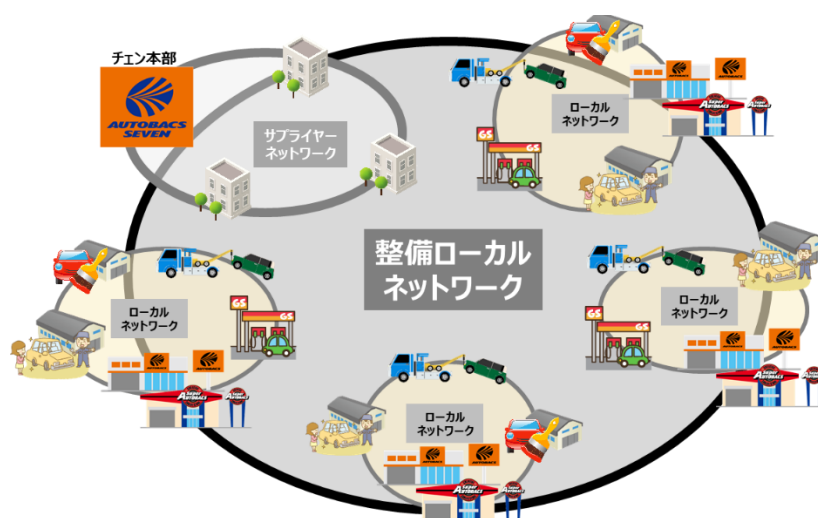
このような環境の中、当社は2019年5月に発表した「5カ年ローリングプラン2019」において、「次世代技術に対する整備ネットワーク」の構築の一環として、さまざまな施策を推進しています。

このたび、BS サミット事業協同組合と包括的業務提携を締結し、整備事業におけるローカルネットワークモデルを加速度的に構築することを目指します。

（次ページへ続きます。）

BS サミット事業協同組合とは、「お客様」と「損害保険会社・アシスタンス会社」、そして「組合員工場」の三社にとって、トリプル・プロフィット（三者間利益）を追求する、車体整備におけるプロ集団の全国ネットワークです。名付けられた『BS』には、「ボディ・ショップ（車体整備工場）」の意味の他に「ベスト・サービス」を提供する「ベスト・ショップ」の意味合いも込められており、自動車保険事故ビジネスは今後どうあるべきかを常に考え、技術面でも接客面でも、最良・最優秀つまり頂点（サミット）を目指している協同組合です。

本提携により、全国に約 600 店舗あるオートバックス店舗が、近隣にある BS サミット事業協同組合の組合員工場とリレーションを深めることで、地域における整備ローカルネットワークの構築を目指します。



整備ローカルネットワークのイメージ

BS サミット事業協同組合の概要

(1) 名称	BS サミット事業協同組合
(2) 所在地	東京都中央区京橋 3-9-4 新京橋ビル 3F
(3) 代表者の役職・氏名	理事長 磯部 君男
(4) 事業内容	安心・安全な自動車整備を実現させるための各種教育事業の運営
(5) 設立年月日	2009年10月

今後も「常にお客様に最適なカーライフを提案し、豊かで健全な車社会の創造を使命とする」という当グループの経営理念に基づき、新たな挑戦を続けてまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 鈴木、小笠原
 〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント
 TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762